

(様式4)

令和3年度 九州ブロック 事業報告

1. 活動テーマ

「未来を創造する公衆衛生看護活動の展開

～ 保健師の原点から住民と共に創る未来 」

2. 目的

全国保健師長会の活動を共有するとともに、専門性の高い公衆衛生看護活動の強化のため、管理期の保健師が、地域に責任を持った活動を行うことができる保健師の人事育成についてより力をつけ、各支部で自主的な活動を推進する。

また、今後、ベテラン職員が大量に退職し、急速な世代交代が進んでいく中で、次世代を担っていく若い保健師をいかにして育て技術を伝えていくのかを考え、学ぶ機会とする。

3. 実施状況

回	開催日	場 所	内 容
1	R3.5.18	小城市役所	第1回実行委員会（3人）
2	R3.6.28	小城市役所	第2回実行委員会（9人）
3	R3.7.16	佐賀中部保健福祉事務所	第3回実行委員会（7人）
4	R3.9.3	佐賀中部保健福祉事務所	第4回実行委員会（7人）
5	R3.10.5	佐賀県看護協会	第5回実行委員会（6人）
6	R3.8～ R4.2 ※意見集約、 確認期間	・書面開催	【九州ブロック支部長会議】 *各支部の活動状況と課題等 情報交換（書面開催）
7	R3.10.23	佐賀県看護協会 オンライン（Zoom）開催	【九州ブロック研修会】（参加者：150人）： 1 全国保健師長会長メッセージ 2 全国保健師長会活動報告 全国保健師長会 清田啓子会長 3 研修 ① 「宮本ふみさんの実践と技術を抽出し継承する」 発表者：東京都立神経病院 患者支援センター 主任保健師 市川かよ子氏 ② 「プロフェッショナルの成長を促す ～ 経験から学ぶ力を育むために」 講師：愛媛大学 教育・学生支援機構 准教授 高橋平徳先生
8	R3.10.23	佐賀県看護協会	第6回実行委員会（7人）

9	R4.1.12	佐賀中部保健福祉事務所	第7回実行委員会（5人）
---	---------	-------------	--------------

4. 結果・課題

【理事・支部長会議】

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、県を越えた参集しての開催は取りやめ、書面開催として実施した。

<共有した内容>

- 人材育成、統括保健師に関すること
- 新型コロナウイルス感染症における保健師業務とその課題
- 災害時に対応するための日頃の体制、準備について
- 感染症対策を含め保健所機能強化についての各自治体の動きについて
- ハイブリッド研修、オンライン研修等で工夫していること

【研修会】

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、県を越えた集合研修は取りやめオンライン（Zoom）開催とした。

<実施状況>

- ・開催日：令和3年10月23日（土）13:00～16:00
- ・オンライン（Zoom）開催
- ・オンライン開催としたため、会員間での意見交換等はできなかったものの、約150人の参加があり、より多くの会員と情報と時間を共有することができた。

「遠隔地からも参加しやすかった」との声もあり、今後は集合とWebとの併用等検討していく必要がある。

5. 支部活動の特徴

- ・当ブロックは8県2市の全10支部で構成されている。
- ・各支部が地理的に離れており定期的な会議開催はできないため、年1回の研修会と同時に支部長会議を開催している。しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、昨年度に引き続き今年度も、県を越えた参集しての開催は取りやめ、支部長会議は書面開催、研修会はオンライン開催とした。

6. 委員・支部長

	氏名	所属
○理事	天本 恭子	佐賀県杵藤保健福祉事務所健康推進課
理事	濱崎 由紀	長崎県県北保健所
福岡県	藤原 美代	福岡県京筑保健福祉環境事務所健康増進課
福岡市	後藤 智江	福岡市南区保健福祉センター地域保健福祉課
北九州市	古野 由美子	北九州市保健福祉局保健衛生部保健予防課
佐賀県	穴井 弘子	佐賀県障害福祉課
長崎県	佐々木 多佳子	長崎県福祉保健部福祉保健課
熊本県	古閑 文代	熊本県健康福祉部健康局健康づくり推進課
大分県	加来 理香	大分県福祉保健部健康づくり支援課
宮崎県	阿波野 恵	宮崎県日向保健所健康づくり課
鹿児島県	嘉納 恵美子	鹿児島県鹿屋保健所健康企画課
沖縄県	新垣 さと子	沖縄県中部保健所

責任者○印